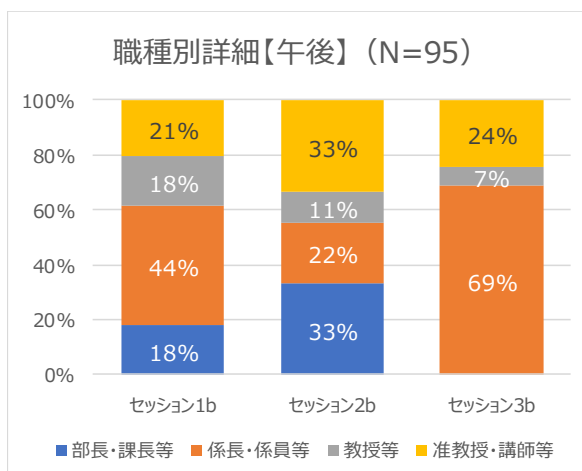
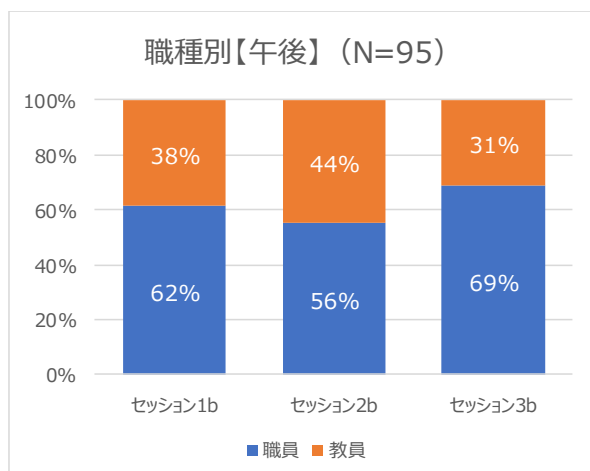
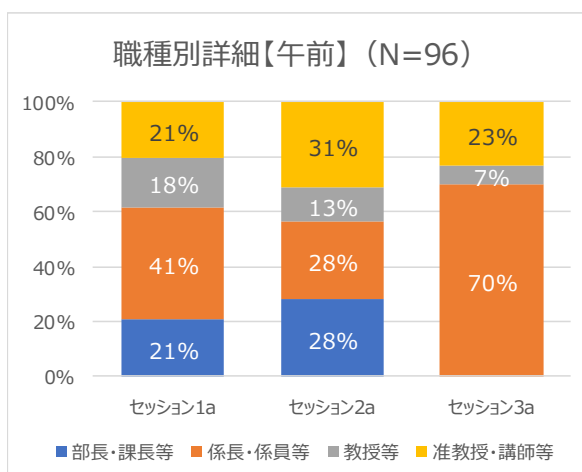
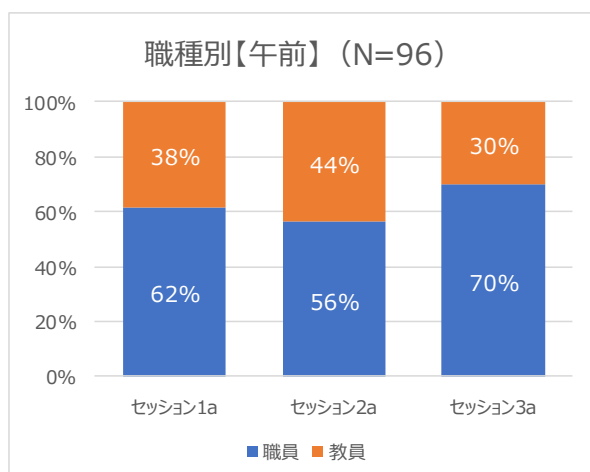


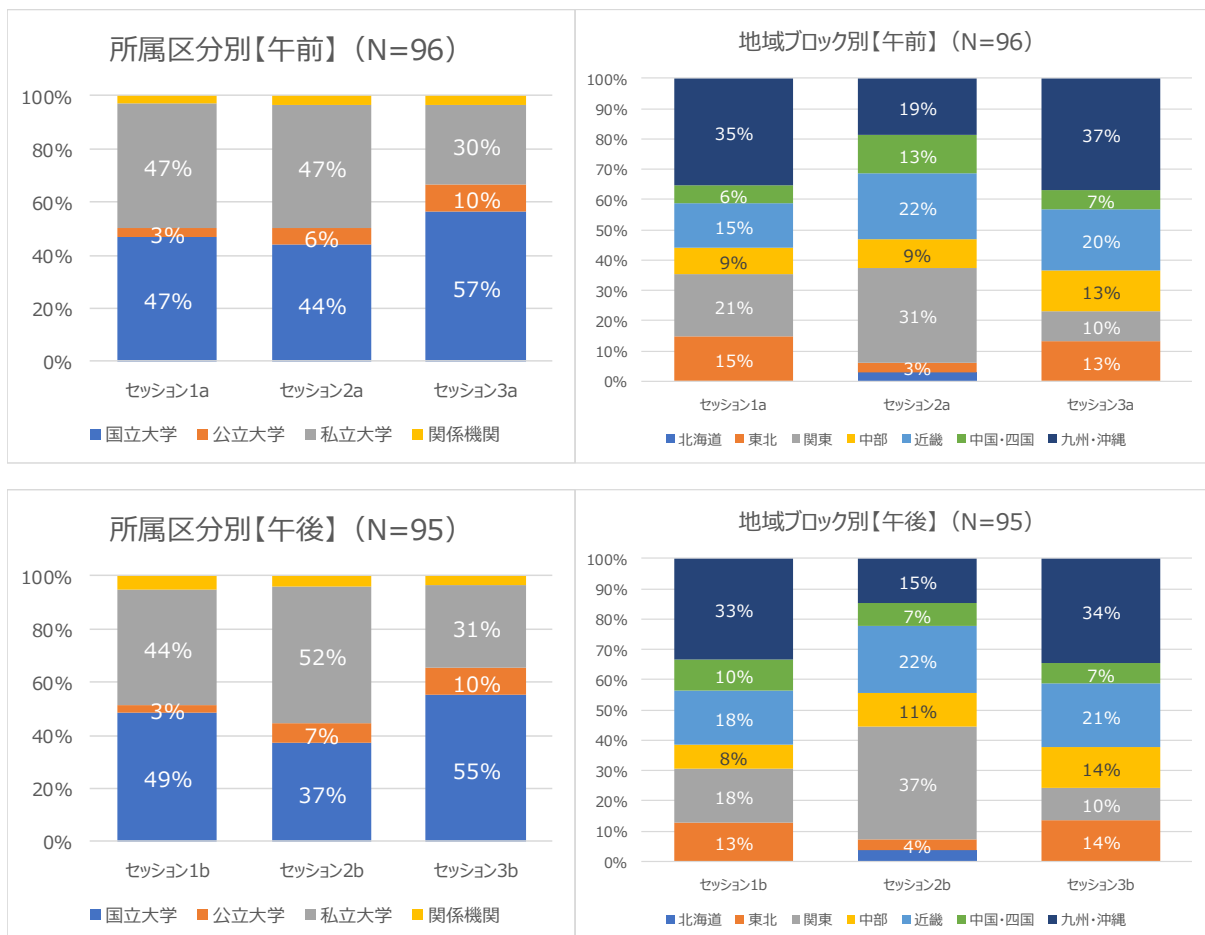
## ○ セッション1、セッション2及びセッション3の参加者について

「継続的改善のための IR/IE セミナー2018」では、延べ 191 名の教職員等（午前：96 名、午後：95 名）が参加し、各セッションの参加状況は以下のとおりでした。各参加者が申し込み時に申請した所属・職種等の情報を基に、参加者の属性分析を行いました。なお、「参加者」とは、国公立大学及び関係機関に所属する教職員であり、運営スタッフ 20 名も含んでいます。

	午前	午後
[セッション1] IR 実務担当者セッション	34 名	39 名
[セッション2] 日本型 IR の課題とその解決に向けたセッション	32 名	27 名
[セッション3] IR 初級人材育成研修セッション	30 名	29 名
計	96 名	95 名



職種別の参加状況において、職員の割合は、セッション1及びセッション2では約60%、セッション3では約70%でした。また、職員の職層を「部長・課長等」及び「係長・係員等」、教員の職層を「教授等」及び「准教授・講師等」に分けて示します。セッション1では職員の係長・係員等が約40%と最も多く、セッション2では教員の准教授・講師等が約30%、セッション3では職員の係長・係員等が約70%でした。職種・職層で判断すると、各セッションのテーマに合わせて設定した対象者が、適宜参加されていたと考えられます。



所属区分別については、セッション1及びセッション2では国立大学と私立大学の割合がほぼ同程度であるのに対し、セッション3では国立大学の割合が60%弱を占めており、公立大学の割合がやや多い傾向にあった。

地域ブロック別については、セッション2を除いて九州・沖縄地区が全体の1/3を占めており、次いで近畿地区が多かった。ただし、セッション2では、関東地区からの参加が最も多かった。

以上のことから、会場が九州工業大学だったことが影響し、全体的に九州・沖縄地区からの参加者が多いものの、全国からほぼ均等に国立大学及び私立大学の教職員の方が参加されていたと推察されます。

(大野 [鳥取大])

■区分表（共通）

地域ブロック	説明
北海道	北海道
東北	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
関東	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
中部	新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県
近畿	大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、三重県、滋賀県、和歌山県
中国・四国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州・沖縄	福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
その他	米国

職種	職種区分	説明
職員	部長・課長等	部長、課長、課長補佐、副課長、専門員、グループ長、グループリーダー、総括主査、事務長、室長、次長、部長、参事、副参事、など
	係長・係員等	係長、主任、主査、主事、専門職員、課員、係員、チーム員、職員、スタッフ、所員、特任研究員、など
教員	教授等	学長、副学長、学長補佐、部局長、教授、など
	准教授・講師等	准教授、講師、助教、など